

評価項目の改正について

令和3年度認定および令和4年度認定より評価項目の改正を行いました。改正した内容は下記のとおりです。

【令和3年度改正】

改正前	改正後
<p>マネジメント機能 マネジメント 1-3</p> <p>自己資本比率（自己資本比率 = 純資産 / (純資産 + 負債)）が一定水準以上を維持している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直近3年の各事業年度における自己資本比率が10%以上を維持している。(2点) ・いずれかの事業年度における自己資本比率が10%以上を維持している。(1点) 	<p>マネジメント機能 マネジメント 1-3</p> <p>自己資本比率（自己資本比率 = 純資産 / (純資産 + 負債)）が一定水準以上を維持している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直近3年の各事業年度における自己資本比率が10%以上を維持している。(2点) ・<u>直近3年の各事業年度における自己資本比率が零以上であり、次の、のいずれかに該当している。(1点)</u> <ul style="list-style-type: none"> <u>直近3年の各事業年度のうちいずれかの事業年度における自己資本比率が10%以上であること。</u> <u>前事業年度における損益計算書上の営業利益金額に当該損益計算書上の減価償却の額を加えて得た額が零を超えること。</u>
<p>マネジメント機能 マネジメント 9-4</p> <p>財務諸表を公表している。</p> <p>インターネット上で直近3年の各事業年度における貸借対照表及び損益計算書を公表している。</p>	<p>マネジメント機能 マネジメント 9-4</p> <p>財務諸表を公表している。</p> <p>インターネット上で直近3年の各事業年度における貸借対照表、損益計算書、<u>株主資本等変動計算書及び個別注記表</u>を公表している。</p>
<p>施設設備機能</p> <p>中間処理 8-4</p> <p>インターネット上で施設の維持管理状況に関する情報の直近3年間分を公表している。(4点) (廃棄物処理施設の設置許可を受けた者は必須項目)</p>	<p>施設設備機能 中間処理 8-4</p> <p><u>インターネット上で処分後の産業廃棄物の持出先の開示の可否を公表している。(2点)</u></p> <p>中間処理 8-5</p> <p>インターネット上で施設の維持管理状況に関する情報の直近3年間分を公表している。(2点) (廃棄物処理施設の設置許可を受けた者は必須項目)</p>

【令和4年度改正】

改正前	改正後
マネジメント機能	マネジメント機能 マネジメント <u>5-3</u> <u>安全衛生規程を作成している。(2点)</u>
マネジメント 6-2 環境保全技術に関する資格を従業員等が取得している。 ・講習会の課程を修了した者が複数あり、講習会の名称及び修了者数を公表している。 <u>(3点)</u>	マネジメント 6-2 環境保全技術に関する資格を従業員等が取得している。 ・講習会の課程を修了した者が複数あり、講習会の名称及び修了者数を公表している。 <u>(2点)</u>
マネジメント 6-3 産業廃棄物関係講習会を従業員等に受講させている。 ・講習会の課程を修了した者が複数あり、講習会の名称及び修了者数を公表している。 <u>(3点)</u>	マネジメント 6-3 産業廃棄物関係講習会を従業員等に受講させている。 ・講習会の課程を修了した者が複数あり、講習会の名称及び修了者数を公表している。 <u>(2点)</u>
マネジメント 14-1 <u>GPS等による管理</u> 、3Rに関する研究・開発による成果、地域貢献(災害時等の支援、福祉活動等)、環境・CSR報告書の作成・公表等先進的な取り組みを行っている。 (自由回答)審査基準と別枠で評価し加点する。	マネジメント 14-1 <u>SDGsへの取り組み</u> 、3Rに関する研究・開発による成果、地域貢献(災害時等の支援、福祉活動等)、環境・CSR報告書の作成・公表等先進的な取り組みを行っている。 (自由回答)審査基準と別枠で評価し加点する。

SDGs とは Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)の略称

2015年9月にニューヨーク国連本部で行われた国連サミットで採択された、人間・地球及び繁栄のための行動計画として2016年から2030年までに達成するために掲げた目標である。それらは大きく17つの目標が掲げられている。

貧困をなくそう、 飢餓をゼロに、 すべての人に健康と福祉を、 質の高い教育をみんなに、 ジェンダー平等を実現しよう、 安全な水とトイレを世界中に、 エネルギーをみんなにそしてクリーンに、 働きがいも経済成長も、 産業と技術革新の基盤をつくろう、 人や国の不平等をなくそう、 住み続けられるまちづくりを、 つくる責任つかう責任、 気候変動に具体的な対策を、 海の豊かさを守ろう、 陸の豊かさを守ろう、 平和と公正をすべての人に、 パートナリシップで目標を達成しよう

さらに、これら17つの目標を具体化した169のターゲットが設定されている。

年々SDGsの認知度は高まっており、日本企業の多くがSDGsへの取り組みを公表している。